



心踊る、文化咲く——
第41回 国民文化祭 第26回 全国障害者芸術・文化祭
よさこい高知文化祭2026
令和8年10月25日回～12月6日回

開幕まで **82** 日



コラム VOL.6

【文化交流事業】

茶の湯文化にふれる講演会/お茶ってなあに？－茶の湯を体験しよう－のご紹介

Q

どんな
イベント？

令和8年11月3日 火・祝

茶の湯にふれる講演会（表千家）

時 間 ①12:00～14:00（呈茶）
②14:00～16:30（講演会）
会 場 高知市文化プラザかるぽーと
講演内容 茶の湯の歴史や茶道具の由来等
入 場 料 2,000円（要申込）
※かるぽーとミュージアムショップにてチケット販売

令和8年11月7日 土・8日 日

お茶ってなあに？－茶の湯を体験しよう－（裏千家）

時 間 10:00～15:00
会 場 高知市文化プラザかるぽーと
内 容 季節のお茶会
茶室の入り方やお茶の点て方等の体験教室
入 場 料 600円（要申込）
※申込はチラシ裏面を参照

Q

“茶の湯”って
なに？

「茶の湯」とは、「茶道」とも呼ばれ、心を込めて準備したお茶でもてなし、みんなで楽しくいただく一連の行為や作法をいいます。

茶の湯は「総合芸術」とも表現され、一服のお茶を味わう空間と時間のなかに、建築、作庭、陶芸、漆芸、書画、華道、食などの日本の文化・芸術の粋が結集されています。季節や茶会のテーマに沿ったお茶とお菓子でもてなし、茶道具や掛け軸、茶花等にも趣向を凝らします。そのため、同じ取り合わせの茶会は一度としてなく、「一期一会」という言葉が茶の湯文化から生まれたというのも納得です。移り変わる季節の一瞬を愛でる姿勢は、忙しい現代を生きる私たちにとって、日々を豊かにするヒントなのかもしれませんね。



茶の湯

